

科目名	技術者倫理		英文表記	Engineering Ethics		作成・修正日			
科目コード	5005								
教員名: 眞喜志隆、杉本和英、荻野正、正木忠勝、鈴木大作、田中 博、青木久美 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			5年	必	履修	1単位	講義	前期	
科目目標	社会と技術者のかかわりと、社会における技術者の責任や役割について理解する。すぐれた意思決定がどのようになされるかについて理解する。								
総合評価	評価は、授業時に実施するレポート・ワーク、ディスカッションの準備と参加、発表、および課題によって行い、60%以上を合格とする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	社会に対する技術者の責任・義務について説明できる。(機械・情報・メディアC-2、生物C-1)			⇒	提出されたレポート、授業中の発表、ディスカッションへの参加状況から、社会に対する技術者の責任・義務について理解しているかを評価する。		40%	
	②	技術者としての自覚をもって、倫理的問題を多面から分析し、複数の可能な解決策を考えることができる。(機械・情報・メディアC-2、生物C-1)			⇒	提出されたレポート、授業中の発表、ディスカッションへの参加状況から倫理問題の分析力、解決能力を評価する。		60%	
	③				⇒				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○			◎	JABEEプログラム教育目標	C-2	C-2	C-2	C-1
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	0	50	50	100			
基礎的理解	①②			30	30	60			
応用力(実践・専門・融合)	①②			20	20	40			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	1-10週目の授業には念のためPCを持参すること。ただし指示のないときに起動した場合には、課題の点数から減点する。 11回-15週目の事例研究は、4クラス合同で行う。								
教科書・教材	パワーポイント、ビデオ(『ギルベイン・ゴールド』『不都合な真実』『おいしいコーヒーの真実』など)								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	導入 技術者としての自覚 技術者としての倫理的責任	2	シラバスの説明。 倫理とはなにか、倫理と法律との関係、倫理的思考とはどのようなものかなどについて理解する。専門職業人としての技術者の役割や技術者の責任について理解する。	自分がなぜ技術者になりたいのか、言えるようにしておくこと	
2	技術者としての自覚 技術者の倫理的責任	2	技術者は世界とどのように関わっているかについて、環境倫理などの観点から考え、持続可能な開発について考える。	世界の環境問題について調べておくこと	
3	技術者と意思決定	2	技術者が意思決定を求められる状況を考察し、技術者倫理とは何か、技術者倫理はなぜ必要かについて考える。倫理綱領について理解し、倫理と行動の関係について考える。意思決定に必要な倫理分析の方法を理解する。倫理的意思決定の阻害要因について検討する。	倫理綱領について調べておくこと	
4	意思決定に必要な能力	2	意思決定に必要な情報分析能力やバランス能力について理解する	福島第一原発の事故に関する情報を集めておく	
5	意思決定に必要な能力	2	課題の発表を通して、情報分析のプロセスを体験する。	発表準備	
6	意思決定に必要な能力	2	意思決定に必要なグローバルな視野と国際倫理について理解する。	南北問題について調べておく	
7	優れた意思決定、意思決定と組織	2	技術者としての信用と公益の確保の両立をもたらす意思決定の可能性について考える。意思決定と組織や他の技術者との関係について考え、技術者を目指すものとしてさまざまな課題に力を合わせて取り組んでいく能力を育てる。	技術者による優れた意思決定の例を集めておくこと	
8	技術者の行動責任	2	技術者の説明責任、内部告発、製造物責任、リスク管理について考える。内部告発の問題について考える。セブン・ステップリストの説明	内部告発の例を集めておくこと	
9	意思決定の練習	2	グループ・ワークを通して、課題解決のプロセスを実践する。	発表準備	
10	発表	2	ワークの発表	発表準備	
11	機械系における事例研究	2	開発過程での実例に基づいて倫理について考える		
12	情報通信系における事例研究	2	開発過程での実例に基づいて倫理について考える		
13	技術者として守るべき事	2	開発過程での実例に基づいて倫理について考える	ソフトウェア開発管理に関する文献を各自探して読んでおくこと	
14	生物系における事例研究	2	食品製造分野での事例を紹介し、技術者倫理について考える	雷印食中毒事件	
15	研究報告における技術者倫理	2	STAP細胞とiPS細胞の論文発表を比較検討し、研究報告における倫理を考える。	STAP細胞、iPS細胞、論文発表	
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は特許法・法学(5年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)